

レースっていいよね

- 第5回 - 「カッコイイの追求」の巻

私はカッコイイ物、事、人が大好きです。この業界にいるのもそのためです。レースはスポーツですが、ドライバー、ライダーは勿論、メカニック、デザイナー、エンジニア、チームとして関わる人々全てが輝いてる。そしてレース専用開発されたマシンもしびれるほどカッコイイ。物を造る技術、走らせる技術、勝つ為の哲学。これらは私の生きる為の礎そのものです。

正直言うと、ホントはこの仕事だけにこだわっている訳ではありません。だって、世界にはいっぱい「カッコイイ」が存在してる。出来ることなら一つ一つ色んな事を見つけていきたいですね。ただ、残念ながらというか、努力が足りないせいか、今のところレース業界以外に私の「カッコイイ」を見つけ出すことができないようです。それに私にはこの世界でやりたいこと、知りたいことが山ほどある。

どこまでのことが出来るか分からないけど、今、とりあえず充実してます。ところで、一言「カッコイイ」といってもただ業界で仕事をしているというのでは私の「カッコイイ哲学」を満たすことが出来ません。人一倍負けることが嫌いで、自己顕示欲が強い私としては「見た目が悪い」のは勿論のこと、「できません」という言葉を言うのもいや。でも、どんなに努力しても勉強しても知らないことや出来ないことは泉のように湧いてくるばかり。だから自分の存在と哲学を保持する為にはとにかく人より多くのことを短い時間で吸収する必要があります。でも私の頭ん中ではどうやらパソコンで言うなら昔はやった MSX 程度の処理しかできないので、言い方を変えれば原付バイクで世界一周してるようなもんじゃないでしょうか。進んでるのか戻ってるのかいまいよく解らん、みたい。はは・・・

西遊記のごとく、私の天竺を探す旅はまだまだ続きます。おあとは次回の講釈で。(こんなオチ、最近の十代には分かんねーっての)